



2025年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年4月11日

上場会社名 小津産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7487 URL <https://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柴崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 三崎 剛志

TEL 03-3661-9400

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第3四半期の連結業績(2024年6月1日～2025年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	7,788	1.4	457	4.7	592	2.9	380	19.0
2024年5月期第3四半期	7,683	3.6	480	9.4	610	10.0	470	26.9

(注) 包括利益 2025年5月期第3四半期 438百万円 (15.0%) 2024年5月期第3四半期 515百万円 (50.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	45.33	
2024年5月期第3四半期	55.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第3四半期	24,944	18,443	73.6
2024年5月期	24,736	18,203	73.3

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 18,352百万円 2024年5月期 18,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期		0.00		25.00	25.00
2025年5月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日～2025年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	1.2	440	16.7	590	16.3	480	12.1	57.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年5月期3Q	8,435,225 株	2024年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	2025年5月期3Q	28,145 株	2024年5月期	35,284 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年5月期3Q	8,404,674 株	2024年5月期3Q	8,398,043 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご高覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年6月1日～2025年2月28日)の業績は、売上高77億88百万円(前年同期比1.4%増)、経常利益5億92百万円(前年同期比2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億80百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

クリーン分野(電子・食品・製薬等)は、国内においてAI関連需要が好調に推移したこと、製薬関連の稼働が堅調に推移したこと、海外においてもAI関連需要に加え、光学関連需要が堅調に推移したこと等により、売上高、利益面とも前年同期を上回りました。

ウェルネスケア分野(医療・介護・コスメ等)は、コスメティック製品の海外需要が伸び悩んだものの、国内需要は堅調に推移したこと、除菌ウェット製品が引き続き堅調に推移したことから、前年同期に比べ、売上高は横ばい、利益面は増加しました。

エコプロダクツ分野(鉄鋼・電力・建設等)では、除染関連製品の販売実績があったものの原材料・労務費の高騰から全体的に需要が落ち込んだため、前年同期に比べ、売上高は減少、利益面は横ばいとなりました。

コンシューマー分野(一般消費者向け)では、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う需要減が一巡したこと等から売上高は前年同期を上回るものの、人員増等の影響から利益面は前年同期を下回りました。

小津(上海)貿易有限公司では、半導体関連需要が比較的堅調に推移したことから売上高、利益面とも前年同期を上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、原材料価格等の高止まりへの対応を行った結果、前年同期に比べ、売上高は減少、利益面は増加しました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、国内外とも販売が伸び悩んだため、前年同期に比べ、売上高は微減、利益面は減少いたしました。

これらの結果、売上高は75億87百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は4億1百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業(除菌関連事業および不動産賃貸業)につきましては、売上高は2億1百万円(前年同期比35.7%増)、セグメント利益は54百万円(前年同期比93.8%増)となりました。

(注)日本プラントシーダー株式会社の決算期は2月末日のため、当第3四半期連結累計期間には2024年3月から2024年11月の実績が、株式会社ディプロ、株式会社旭小津およびエンビロテックジャパン株式会社(除菌関連事業)の決算期は3月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の2024年4月から2024年12月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2億7百万円増加し、249億44百万円となりました。主な要因は、「電子記録債権」の増加2億6百万円、「投資有価証券」の増加1億10百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて32百万円減少し、65億1百万円となりました。主な要因は、「繰延税金負債」の増加82百万円、「未払法人税等」の減少87百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2億39百万円増加し、184億43百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加1億70百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、2025年1月30日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,438,806	7,379,188
受取手形及び売掛金	2,071,119	2,172,182
電子記録債権	1,035,379	1,241,721
商品及び製品	1,095,201	1,113,408
原材料	534,981	577,068
その他	719,136	625,500
貸倒引当金	△279	△355
流動資産合計	12,894,345	13,108,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,494,467	6,533,121
減価償却累計額	△3,807,625	△3,933,979
建物及び構築物(純額)	2,686,842	2,599,142
機械装置及び運搬具	2,289,466	2,346,589
減価償却累計額	△1,962,766	△2,037,246
機械装置及び運搬具(純額)	326,700	309,342
土地	1,750,565	1,744,565
その他	468,649	477,159
減価償却累計額	△399,159	△415,147
その他(純額)	69,489	62,012
建設仮勘定	18,342	39,070
有形固定資産合計	4,851,940	4,754,134
無形固定資産		
その他	50,891	33,837
無形固定資産合計	50,891	33,837
投資その他の資産		
投資有価証券	6,548,029	6,658,983
長期貸付金	2,914	2,546
繰延税金資産	20,420	26,976
その他	369,470	360,249
貸倒引当金	△1,191	△1,050
投資その他の資産合計	6,939,642	7,047,705
固定資産合計	11,842,474	11,835,677
資産合計	24,736,820	24,944,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,163,972	1,205,038
短期借入金	1,270,000	1,250,000
未払法人税等	114,769	26,890
賞与引当金	30,129	59,493
その他	1,022,214	932,203
流動負債合計	3,601,087	3,473,626
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	800,000	800,000
繰延税金負債	1,442,854	1,525,299
退職給付に係る負債	146,342	144,430
その他	43,148	57,793
固定負債合計	2,932,345	3,027,524
負債合計	6,533,432	6,501,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,399,402	1,402,693
利益剰余金	11,883,030	12,054,003
自己株式	△41,811	△33,351
株主資本合計	14,562,835	14,745,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,516,797	3,563,219
為替換算調整勘定	50,284	43,262
その他の包括利益累計額合計	3,567,081	3,606,482
非支配株主持分	73,470	91,198
純資産合計	18,203,387	18,443,240
負債純資産合計	24,736,820	24,944,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	7,683,475	7,788,886
売上原価	5,225,334	5,195,169
売上総利益	2,458,141	2,593,716
販売費及び一般管理費	1,977,555	2,135,729
営業利益	480,586	457,987
営業外収益		
受取利息	441	3,044
受取配当金	93,650	119,509
持分法による投資利益	8,280	36,440
為替差益	20,227	—
その他	20,732	11,848
営業外収益合計	143,331	170,842
営業外費用		
支払利息	9,639	13,044
売上割引	2,005	2,055
為替差損	—	18,464
その他	2,138	2,757
営業外費用合計	13,783	36,322
経常利益	610,134	592,507
特別利益		
固定資産売却益	19	598
投資有価証券売却益	12,794	—
補助金収入	27,738	7,736
負ののれん発生益	35,650	—
特別利益合計	76,202	8,334
特別損失		
固定資産除却損	215	7,971
固定資産圧縮損	27,390	6,000
投資有価証券評価損	—	3,998
段階取得に係る差損	17,156	—
特別損失合計	44,762	17,969
税金等調整前四半期純利益	641,575	582,872
法人税、住民税及び事業税	143,892	139,309
法人税等調整額	21,196	44,863
法人税等合計	165,088	184,173
四半期純利益	476,486	398,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,394	17,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	470,091	380,971

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	476,486	398,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,713	68,737
為替換算調整勘定	12,238	△7,021
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,910	△22,314
その他の包括利益合計	39,041	39,400
四半期包括利益	515,527	438,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,133	420,372
非支配株主に係る四半期包括利益	6,394	17,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	265,392千円	271,746千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	不織布				
売上高					
外部顧客への売上高	7,535,213	148,262	7,683,475	—	7,683,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	28,592	28,592	△28,592	—
計	7,535,213	176,855	7,712,068	△28,592	7,683,475
セグメント利益	451,667	28,022	479,689	896	480,586

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額896千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

不織布事業において、当第3四半期連結会計期間に持分法適用関連会社であった株式会社旭小津の株式を追加取得し、連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益35,650千円を計上しております。また、株式の追加取得時において、段階取得に係る差損17,156千円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年6月1日至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	不織布				
売上高					
外部顧客への売上高	7,587,674	201,211	7,788,886	—	7,788,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	28,517	28,517	△28,517	—
計	7,587,674	229,729	7,817,404	△28,517	7,788,886
セグメント利益	401,844	54,310	456,154	1,832	457,987

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,832千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2024年12月26日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産の譲渡について決議を行い、2025年1月30日に譲渡契約を締結し、2025年3月31日に譲渡いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用と財務体質の強化を図るため、当該固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称および所在地	資産の内容	譲渡益
千葉物流センター 千葉県佐倉市小篠塚字満井118番1 佐倉市木野子字後臺271番3	土地 6,250.91㎡ 構築物等 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 2,466.69㎡	約125百万円

※譲渡価額については、譲渡先の強い意向により開示を控えさせていただきますが、市場価格を反映した適正な価額での譲渡取引を行っております。

※譲渡益については、譲渡価額から帳簿価額および譲渡に係わる費用等の見込み額を控除した概算金額を記載しております。

3. 譲渡先の概要

譲渡先は国内個人1名(当該個人が関連する国内法人1社が使用する予定)ですが、譲渡先の強い意向により開示を控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先および譲渡先の関連先との間には、資本関係、人的関係、取引関係および関連当事者として特筆すべき事項はありません。また、譲渡先の選定にあたっては適正なプロセスを経しております。

4. 譲渡の日程

取締役会決議 2024年12月26日

契約締結日 2025年1月30日

物件引渡日 2025年3月31日

5. 業績に与える影響

当該事象により、第4四半期連結会計期間において、「固定資産売却益」約125百万円を特別利益として計上する予定であります。